



©2005 石塚真一社学館

特別号(平成 26 年 6 月 27 日)

店舗スタッフと山岳遭難現場をつなぐ

特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信はお客様と接する登山用品店舗スタッフの方に、長野県の山岳地域で発生した遭難の代表的な事例を随時お伝えし、「安全登山のアドバイス」のきっかけとしていただくため、発行しています。

### ～「信州 山のグレーディング」を作成しました～

長野県と長野県山岳遭難防止対策協会では、「登る山」と「登る人の実力」のミスマッチによる山岳遭難事故を防ぐため、県内の 100 の登山ルート of 難易度を評価しました。「自分に合った山選び」により、登山を安全に楽しみましょう。

#### 【目的】

- 長野県では山岳遭難件数が 4 年連続過去最多を更新するという深刻な事態が続き、平成 25 年の遭難件数は 300 件（遭難者数 328 人、うち死亡・行方不明者数 74 人）に達しました。
- 登山者の増加に伴い、「体力の低下を意識しない中高年者」や「山の怖さを知らない初心者」が、県内の急峻な山岳にも訪れ、山岳遭難事故増加の一因となっています。
- 県内の登山ルートの難易度を情報提供し、登山者が「自分の力量にあった山選び」をすることにより、山岳遭難事故の防止に役立てるものです。

#### 【グレーディングの内容と使い方】

- 登山ルート（100）の固有の地形的な特徴に基づいて、体力度と技術的な難易度で評価しました。
- 縦軸に 1～10 段階の体力度のグレーディング、横軸に A～E の 5 段階の難易度のグレーディングをしています。
- 使用に当たっては、自分の調べたい山を、「50 音順」の「信州 山のグレーディング一覧表」から見つけ、体力度と難易度を確認して下さい。
- 遭難の多い中高年の方は、現在の体力や能力・技術に応じた「山選び」をして下さい。そのためにも過去に登った山のグレーディングが参考になりますが、「過去の体力や能力・技術はあくまでも過去のもの」であることを十分認識して下さい。
- 初心者の方はグレーディングの左下のルートから徐々に右上のルートの方に経験を積み重ねていって下さい。

#### （添付資料）

1. 信州 山のグレーディング
2. 信州 山のグレーディング一覧表（50 音順）

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」[mt-toursim@pref.nagano.lg.jp](mailto:mt-toursim@pref.nagano.lg.jp) までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝